



今出川キャンパス クラーク記念館



京田辺キャンパス 医心館



今出川キャンパス 彰栄館

2019年度 「キャンパスライフに関するアンケート調査」

調査結果ダイジェスト

〔発行〕2021年1月

〔作成・お問い合わせ〕同志社大学 学習支援・教育開発センター ☎075-251-3277 ✉ji-kyoik@mail.doshisha.ac.jp



Ben-k®

2019年度「キャンパスライフに関するアンケート調査」結果概要

大学の授業で、「志」を高める

所属学部の「卒業までに習得すべき力(ディプロマ・ポリシー)」を知っている学生



1年次

40%

3年次

38%

▶ 学びをつうじて何ができるようになるのか、ゴールをイメージしよう。

多様なものの見方にふれることに、大学の学びが役に立ったと感じている学生



1年次

88%

3年次

88%

▶ “大きな視野でものごとを考える” 姿勢をはぐくもう。

大学での学びをつうじて、文献や資料を読んで要点を理解する力が身についたと感じている学生



1年次

82%

3年次

83%

▶ 読解力の伸びを、1年次の段階から多くの学生が実感。

大学での学びをつうじて、自分の意見を筋道立てて主張できる力が身についたと感じている学生



1年次

69%

3年次

76%

▶ 伝える力は、1年次よりも3年次のほうが伸びを実感。

教員から教えてもらうだけが、学びではない

授業でのグループワークの経験率



1年次

74%

3年次

73%

▶ 学生同士で学び合うスタイルの授業の機会は、近年、増加中。

協調性を持つうえで、大学の学びが役に立ったと感じている学生



1年次

76%

3年次

72%

▶ 互いを尊重しながら、力を合わせる。

SA(スチューデント・アシスタント)やTA(ティーチング・アシスタント)から助言を受けたことがある学生



1年次

41%

3年次

51%

▶ 年齢の近い先輩や大学院生からのアドバイスも、学びのヒントに。

ラーニング・コモンズを日常的に利用する学生



1年次

26%

3年次

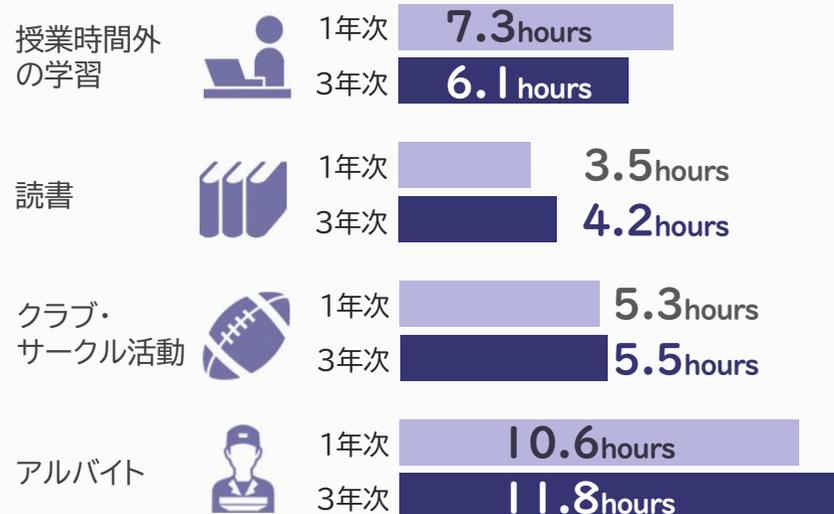
21%

▶ 知を探究し、仲間とアイデアを交わす場。学習相談も受付中。

2019年度「キャンパスライフに関するアンケート調査」結果概要

課外活動も、さまざまな出会いと経験の機会

平均活動時間(1週間あたり)



▶ 上級生ほど、授業時間外の学習よりもアルバイトに熱心な傾向にある!?

クラブ・サークルに所属したことがある学生



▶ ただし、3年次の秋学期終了時には、約4割が退部・引退している。

ボランティア活動への参加率



▶ ボランティアも、社会への関心を高め、自分を成長させる活動の1つ。

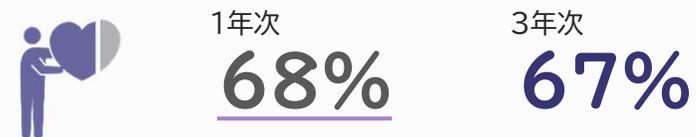
キャンパスライフへの期待と満足

第1志望が、同志社ではなかった学生



▶ 同志社で学んでよかった、と実感できるキャンパスライフを。

大学の一員だと感じている学生



▶ 学内に友だちをもつ学生は約9割なのに対し、所属意識をもつ学生は7割弱。

教育全般に対する満足度



▶ おもしろければ、学問にも夢中になる。

図書館の環境や設備に対する満足度



▶ 学術情報の宝庫。文献検索や資料収集はもちろん、静かに自習もできる。

2019年度「キャンパスライフに関するアンケート調査」実施概要

□ 調査趣旨

- ▶ 「キャンパスライフに関するアンケート調査」は、1年次を対象として2004年度に開始した本学独自の学修行動調査である。本学の教育の実態や学生の学びの現状を把握できるような基礎データを収集・蓄積し、良い教育プログラムを開発することを目的に、毎年度、秋学期終了後に1年次対象に実施している。調査は、学生が本学の教育にどのように取り組み、自身の学びをどのように受けとめているのかを、学生自身に自己評価してもらう形式になっている。学年進行にともなう学生の成長や、学年による違いを把握するため、2006年度からは3年次も調査対象に拡大した。

□ 主な調査項目

- ▶ ①回答した学生のプロフィール(所属学部・学科、入試区分、大学入学前の第1志望先、通学区分など)
- ▶ ②正課内外の学びへの取り組み(授業経験、授業内外の学習状況、生活時間、クラブ・サークルへの加入状況など)
- ▶ ③学びの受けとめ方(能力・スキルの獲得実感、授業が役に立ったという実感、大学への適応感、教育満足度など)
- ▶ ④卒業後の希望進路

□ 回収状況

- ▶ 当初は、両学年とも、紙媒体の調査票とWEB調査(学内LMS「e-class」を利用)を併用して実施する予定だった。しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大により、キャンパス内への入構が制限され、授業などをつうじて紙媒体の調査票を配付・回収することが困難になった。
- ▶ 2学部において、2019年度生の一部に紙媒体の調査票で実施したが、それ以外の学部や、2017年度生はすべてWEB調査で実施した。
- ▶ 今年度の調査時期は、対面授業をネット配信授業へと全面的に切り替えるための準備や、科目の開講中止、履修登録の中止、各授業からの課題などの連絡が、学生に集中した期間と重なる。学生が落ち着いて調査に回答できるような状況ではなかったため、過去の調査の回収率と比べても、大きく落ち込んだ。

	1年次	3年次
調査対象者	2019年度生全員	2017年度生全員
調査実施期間	2020年3月24日～4月30日(5月11日まで延長)	
調査方法	WEB調査。一部の学部において、紙媒体の調査票を併用して実施。	
有効回答数	1,317件	569件
有効回答率	21.4%	8.9%

法律により認められる場合を除き、本資料を本学に無断で使用・転載・複製等を行うことはできません。